



SPECIALSESSION01

北海道新幹線開業まで、あと1年あまり。

開業へのカウントダウン、はじまる。

2015年の幕が開き、北の大地を新幹線が走るその日まで、いよいよ1年あまりを残すのみとなりました。さまざまな道内各地の取り組みを通して、北海道新幹線開業への期待がますます高まっています。

北海道新幹線開業に向けた取り組みが加速しています。



様々な名称やマークが決定しています

北海道新幹線の名称とシンボルマークが決定

2014年11月20日、北海道新幹線の列車名が「はやぶさ」と「はやて」に決定したことを発表。同時に、北海道とシロハヤブサをモチーフにしたH5系のシンボルマークも公表されました。

- ◎名称／「はやぶさ」「はやて」
- ◎シンボルマーク



函館駅～新函館北斗駅間のアクセス列車の名称が決定

新幹線が発着する新函館北斗駅と函館駅の間を運行するアクセス列車の名称が一般公募され、2015年2月12日、6,173件の応募の中から「はこだてライナー」に決定しました。

「はこだてライナー」



「道南いさりび鉄道」第3セクター鉄道会社の名称が決定

新幹線開業にとまない、JR江差線五稜郭～木古内間は第3セクター鉄道へ引き継がれます。その会社名が一般募集され、6,207件の応募の中から2014年12月24日に「道南いさりび鉄道」に決定しました。

「道南いさりび鉄道」



青森県・函館デスティネーションキャンペーン(DC)のキャッチフレーズとマスコットキャラクター決定!

2014年12月22日、北海道新幹線開業後の2016年7～9月に実施される、青森県全域と道南11市町を対象とした大型観光キャンペーン「青森県・函館デスティネーションキャンペーン(DC)」のキャッチフレーズが「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。」に決まりました。マスコットキャラクターとして、青森県の観光キャラクター「いくべえ」が、五稜郭などをイメージしたかぶりものでPRします。

ひと旅 ふた旅、めぐる旅。

青森 = 函館
AOMORI HAKODATE

青森県・函館デスティネーションキャンペーン 2016.7.1～9.30



沿線地域の取り組みをご紹介します

函館市 新しい電車停留場が供用スタート

市電の函館駅前新電停が、2014年11月26日に供用を開始しました。高いデザイン性と、ホームを拡張するなどのバリアフリー化で、函館の玄関口にふさわしい電停になっています。



函館市 函館山ロープウェイにゴンドラ新設

2014年11月7日、函館山ロープウェイに新ゴンドラが登場。公立はこだて未来大学との共同研究による、自然との調和がコンセプトのデザインにも注目です。



函館市 函館商工会議所青年部の若手社長率いる「函館はやぶさPR隊」が快走中!

H5系車両のかぶり物と全身タイト姿で新幹線開業をPRする「函館はやぶさPR隊」が、地元のイベントなどで大人気。楽しい観光PR動画は、動画投稿サイト「YouTube」で公開中です。



湯の川温泉で疲れを癒す「函館はやぶさPR隊」

函館市 新幹線カラーのバスと市電が運行

函館市では、2014年10月1日からH5系車両と同色の市電とバスを各1台運行中です。新幹線カラーの車両が街を走りながら開業ムードを盛り上げています。



木古内町 JR木古内駅前に「観光交流センター」建設中

北海道新幹線開業に合わせ、JR木古内駅前では「観光交流センター」の建設が進んでいます。施設内には飲食店や物産店などが入り、イタリア・スローフード協会の「世界の料理人1000人」に選ばれた奥田政行シェフ監修の飲食店の出店が決まるなど、注目を集めています。



北斗市 きじひき高原パノラマ展望台に展望施設が整備されました

「きじひき高原」は、北海道新幹線新函館北斗駅から車で15分のところにあります。パノラマ展望施設からは津軽海峡や大沼、駒ヶ岳などの絶景を一望できるほか、大野平野に巨大な弧を描く新幹線の高架橋も見るすることができます。

